



海事デジタルエンジニアリング講座

第4回シンポジウム MODE2025

- 船舶のライフサイクルを支えるシミュレーション基盤の構築に向けて -

The 4th MODE (Maritime and Ocean Digital Engineering) Symposium

2025年 10月16日 木 13:00~18:00 開場 12:30

東京大学 本郷キャンパス 伊藤謝恩ホール

参加費
無料

※事前の参加登録が必要です

PROGRAM

司会 田中 大士 三菱造船株式会社

開会挨拶 (13:00) 村山 英晶 東京大学 大学院工学系研究科システム創成学専攻

来賓挨拶 (13:05) 河野 順 国土交通省 海事局次長

船舶のライフサイクルを支えるシミュレーション基盤 (13:10) 角田 領 株式会社MTI / 中島 拓也 東京大学

脱炭素船開発のためのシミュレーション基盤構築に向けたMODEの取り組み (13:30)

渡邊 健太郎 ジャパン マリンユナイテッド株式会社 / 三上 航平 東京大学

自動運航船シミュレーション基盤構築の現状と今後 (13:50)

原 裕一 古野電気株式会社 / 安田 俊平 古野電気株式会社

機電系におけるシミュレーション基盤構築に向けたMODEの取り組みと2年後の成果 (14:10)

羽生 一成 BEMAC株式会社 / 渡部 潤 株式会社MTI

生産革新のためのシミュレーション基盤 (14:30)

安部 昭則 東京大学 / 松尾 宏平 海上技術安全研究所

MODE Lab デモンストレーション (14:50)

開発中のシミュレーション基盤のデモンストレーション (MODE Lab研究員による)

エンジニアリングソフトウェア企業による展示

パネルディスカッション 東大MODEの成果と役割 (16:00)

司会 安藤 英幸 株式会社MTI

パネリスト 村山 英晶 東京大学

一ノ瀬 康雄 大阪大学

古池 健太 株式会社新来島サノヤス造船

藤田 泰明 ジャパン マリンユナイテッド株式会社

阿方 基裕 BEMAC株式会社

総括 (17:40)

有馬 俊朗 一般財団法人日本海事協会

閉会挨拶 (17:55)

鈴木 克幸 東京大学 大学院新領域創成科学研究科海洋技術環境学専攻

懇親会 (18:00~20:00)

海事産業の課題に取り組むための有効な手段として期待されるのが、自動車産業で導入が進むモデルベース開発 (MBD) とモデルベース・システムズエンジニアリング (MBSE) です。これらを活用することで、複雑な船の設計においても迅速に最適化が図られるだけでなく、荷主・運航者をはじめとする幅広いステークホルダーが参加する協調的な開発プロセス「海事デジタルエンジニアリング」を創り出すことができるようになります。

本講座は、2022年の10月に設置され、海事分野のためのMBDとMBSEについて研究教育する拠点として、次世代のサステナブルな海上物流を構築するためのシミュレーション共通基盤の開発に取り組んでおり、この度、第4回シンポジウムを開催し、東大MODEの成果と役割についてレビューを行います。

主催 東京大学大学院新領域創成科学研究科

共催 今治造船株式会社、株式会社MTI、JRCSS株式会社、ジャパン マリンユナイテッド株式会社、株式会社商船三井、株式会社新来島サノヤス造船、ダイハツインフィニアス株式会社、常石造船株式会社、寺崎電気産業株式会社、東京計器株式会社、ナブテスコ株式会社、一般財団法人日本海事協会、日本無線株式会社、BEMAC株式会社、古野電気株式会社、三菱造船株式会社、株式会社日本海洋科学、常石造船昭島研究所株式会社

協賛 株式会社海事プレス社 株式会社日本海事新聞

お問合せ 海事デジタルエンジニアリング講座(MODE)事務局 Email: mode@edu.k.u-tokyo.ac.jp

※ 関係者以外の方は、参加のご登録をお断りする場合があります。

お申し込みはこちらから

<https://forms.gle/qz9H9zZo8cjP12Hv6>

